



Maker Faire Tokyo のご案内

株式会社オライリー・ジャパン

2021.12.22

Confidential

本資料には未発表・未公開の情報が含まれます。本資料の情報・掲載写真は、株式会社オライリー・ジャパンの許可なく、対外的に公開・転載することはできません。



Maker Faire-Tokyo 2020 の様子



Maker Faire Tokyo 2018の様子



Maker Faire Tokyo 2019 の様子



Maker Faire Tokyo 2019 の様子



Maker Faire Tokyo 2016 の様子

イベントのご案内

オライリー・ジャパンについて

Make:



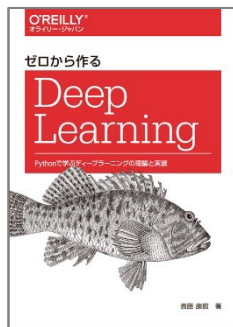
オライリー・ジャパンは、アメリカに本社を置くO'Reilly Media, Inc. の100%出資子会社として、主要なテクノロジー分野に関する技術書籍の出版活動を展開してきました。

2006年よりテクノロジーを使ったDIYを楽しむ人のための「Make: BOOKS」シリーズの出版をスタート。

2008年よりMaker Faire Tokyo（2012年にMake: Tokyo Meetingからリニューアル）、2019年よりMaker Faire Kyotoを主催しています。

会社概要

社名 : 株式会社オライリー・ジャパン
設立 : 1995年12月12日
資本金 : 35百万円
(米国O'Reilly Media, Inc. 100%出資)
所在地 : 〒160-0002
東京都新宿区四谷坂町12番22号
VOLT四谷坂町 1F
事業内容 : コンピュータ技術書籍（電子書籍含む）の
翻訳企画出版、Maker Faireの運営
関連会社 : O'Reilly Media, Inc.
Make Community LLC.
O'Reilly UK Ltd.
O'Reilly Beijing



Maker Faireについて

Make:

Maker Faireとは地上最大の（DIYの）展示発表会です。

人々が自分で作った物を見せ合う場所であり、自分が学んだことをシェアする場所でもあります。

Maker Faireの使命は、このコミュニティを、楽しませ、情報を提供し、結びつけ、より大きくすることにあります。

2006年に米国サンフランシスコではじまったMakerたちの祭典 **Maker Faire** は、規模を世界中に拡大し、2019年には**世界200か所**で開催されるにいたります。

ベイエリア（サンフランシスコ）、ローマ、カイロ、ベルリン、モスクワ、バルセロナ、台北、深センなどの主要都市でMaker Faireが開催されました。

全世界が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響下にあった2020年、2021年は、オンラインを中心に各地での活動が行われ、パンデミックに対するメイカーの貢献に関する議論や、オンラインワークショップの提供などが行われました。



Maker Faire Tokyo / Kyoto について

Make:

Maker Faire Tokyoは、2008年から前身イベントMake: Tokyo Meetingを開催し、
2022年で18回目、累計16万人以上が来場（2021年は、オンライン開催）。

Maker Faire Kyotoは、2019年に関西初のMaker Faireとして開催、
2日間で、約7,500人が来場（2020年、2021年は、オンライン開催）。

「Maker Faire Tokyo 2020」では、感染防止対策を徹底したオンサイト（対面）イベントと
オンラインイベントのハイブリッドイベントに挑戦し、
“五感を使ったコミュニケーション”や“偶然の発見”が可能なオンサイトイベントの長所と、
“会場に来場できなくても楽しめる”オンラインイベントの長所を活かした取り組みを開始しました。



個人から企業まで
多様なメイカーとオープンに交流



最新のテクノロジーを使った
実験的な作品に出会う



誰でもいつでも参加できる
オンラインワークショップ

*“Maker Faire is the intersection of
science, art, and technology”*

日本国内のMaker Faireの開催状況

Make:

地域の自治体・学校・企業・作り手が参加し、物作りの楽しさを共有するとともに新しい交流、アイデア、産業を育む場となることを目的に、様々な団体の協力のもと

Maker Faire／Mini Maker Faire／Micro Maker Faireを開催しています

- 京都府精華町：2019年5月にMaker Faire Kyotoを開催。主催：オライリー・ジャパン 後援：京都府、公益財団法人 京都産業21、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構、京田辺市、木津川市、精華町。2019年来場者：約7,500人、出展者：190組
- 岐阜県大垣市：2010年にMake: Ogaki Meeting、2012年、2014年、2016年、2018年にOgaki Mini Maker Faireを開催。主催：Ogaki Mini Maker Faire 実行委員会。2018年来場者：約7,000人、出展者：143組
- 山口県山口市：2013年、2015年にYamaguchi Mini Maker Faireを開催。主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団（山口情報芸術センター [YCAM] ）。2015年来場者：約7,400人、出展者：106組
- 茨城県つくば市：2020年2月にTsukuba Mini Maker Faireを開催。主催：TMMF実行委員会 共催：オライリー・ジャパン、つくば市 2020年来場者：約4,700人、出展者：151組
- 宮城県仙台市：2020年1月にSendai Micro Maker Faireを開催。主催：オライリー・ジャパン 共催：FabLabSENDAI – FLAT、make道場。2020年来場者：約450名、出展者：30組



2022年は、仙台、浜松にてMicro Maker Faire を開催予定！

Maker Faire Tokyo / Kyoto の開催実績

Make:

Maker Faire Tokyo 2020は、感染対策を徹底し、
オンサイト+オンラインの併催として開催！

◆Maker Faire Tokyo 2020 ※2020は、オンラインとの併催 ※2021は、オンラインでの開催

会期：2020年10月3日（土） 12:00～17:00

10月4日（日） 10:00～16:00

会場：東京ビッグサイト 西4ホール

※感染拡大防止のため、会場規模を縮小し、人数制限を行って開催

出展者数：約210組（2019年：約350組）

来場者数：6,500人（2019年：約22,000組）

スポンサー：22社（2019年：53社）

サポーター：1社

プレス来場者：約35媒体・42名（2日間計）

◆Maker Faire Kyoto 2019 ※2020、2021は、オンラインでの開催

会期：2019年5月4日（土） 12:00～18:00

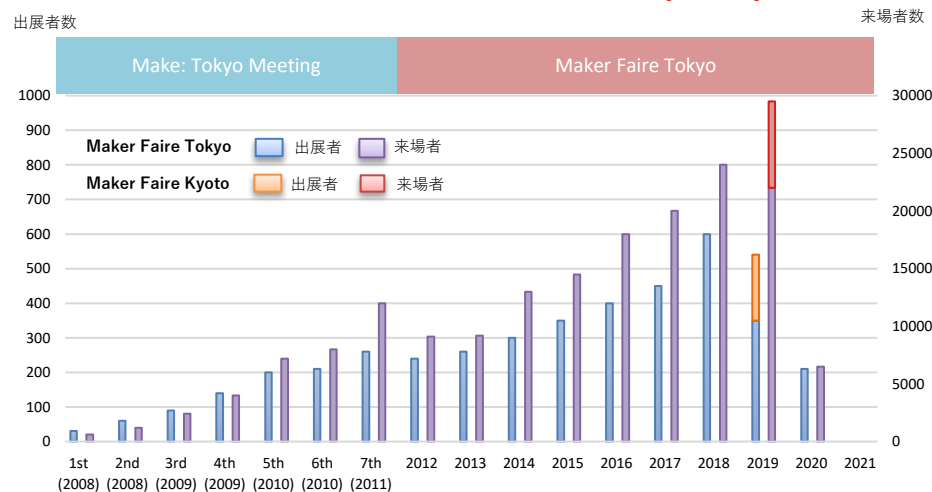
5月5日（日） 10:00～17:00

会場：けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）

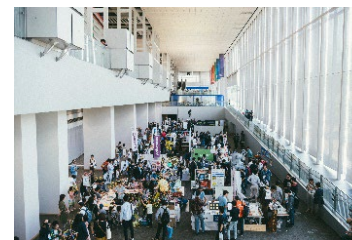
出展者数：約190組 来場者数：7,500人

スポンサー：19社

年度別参加者数推移（Maker Faire Tokyo/Kyoto）



※Maker Faire Kyoto 2020 & 2021, Maker Faire Tokyo 2021 は、オンライン開催のため数値なし



オンラインイベント開催実績

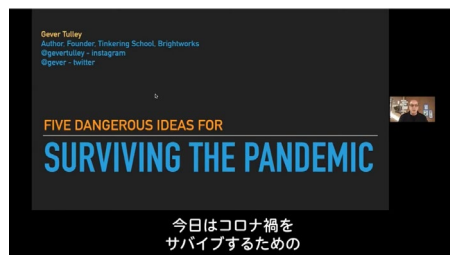
項目	MFK2020	MFT2020 1DAY	MFT2020 2DAY	MFK2021	MFT2021 1DAY	MFT2021 2DAY
	オンライン	ハイブリッド	ハイブリッド	オンライン	オンライン	オンライン
ユニーク視聴者数(名)	198	609	327	896	1,214	1,632
最大同時視聴者数(名)	167	146	87	217	349	191
視聴回数(views) ※全て2021/10/13時点	721	4,168	2,054	3,633	4,135	3,335

※MFT = Maker Faire Tokyo、MFK=Maker Faire Kyoto

◆ Maker Faire Tokyo2021 オンラインプログラム

●特別講演

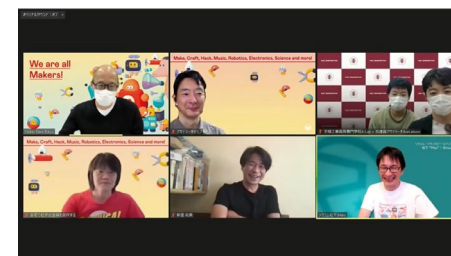
「パンデミックを生き残るための5つの危険なアイデア」



●モア・ザン・ヒューマンと共につくりあうために



●ミニプレゼンテーション



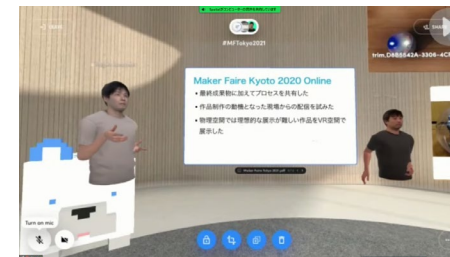
●「たのしいmicro:bitコンテスト2021」受賞作品発表



●DIY MUSIC for kids “Make Some Noise”



●物理空間以外にMaker Faireを拡張することは可能か？



Maker Faire Tokyo 2020 感染対策の実績

Make:

検温の実施

出展者・来場者・関連スタッフ等、イベントに関わる全ての方に、検温を行いました。

会場内の換気の実施

搬入口を開け、扇風機を複数個所に設置し、換気に努めました。

消毒液の配置

会場内に消毒液を複数配置し、こまめな手洗いや消毒を促しました。

間隔の確保

各出展者の机の間隔を広く確保できるようレイアウトを行いました。

来場時の待機列は、分かりやすく目印をつけ、誘導を行いました。

ステージの観覧席の間隔を広く配置しました。

ステージ上に複数人登壇する場合もあるため、席の間にパーティションの設置を行いました。

会場内の人数制限

センサーで入場者と退場者を管理し、場内の滞在者数を管理するとともに、

会場が密になることがないように、スタッフによる管理を行いました。

スタッフの感染予防

マスク着用、担当によってはフェイスシールドや手袋等の使用を徹底しました。

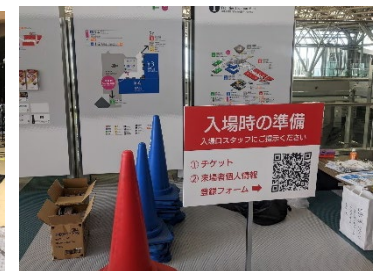
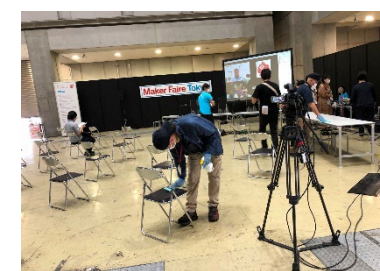
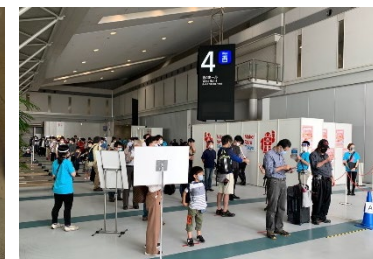
こまめな消毒

ステージの観覧席や機材等、頻繁に接触が発生する場所については、特にこまめな消毒を行いました。

全イベント参加者の連絡先の取得

感染拡大防止のため、来場者・出展者・関係スタッフ等イベントに関わる全スタッフの連絡先を取得し、連絡体制を整えました。

Maker Faire Tokyo 2022でも同様の対策を講じ、必要に応じてアップデートも行います。



メディア掲載実績

Make:

◆ Maker Faire Tokyo 2020 開催時

テレビ

- 日本テレビ 10月10日（土）ズームイン！！サタデー



ウェブサイト

- Fabcross 10月3日
「毎年恒例のMakerイベント「Maker Faire Tokyo 2020」、オンサイト／オンラインで開催中」
- DG Lab Haus 10月5日
「Maker Faire Tokyo 2020「好きだから作ってみた」モノたちを楽しむ」
- 日経クロステック 10月9日
「パケットや量子ビットはどう動く？Maker Faire Tokyoで可視化装置に注目集まる」
- マイナビニュース 10月11日
「リアルで開催、モノ作りの祭典「Maker Faire Tokyo 2020」レポート」
- Design Spark 10月20日
「Maker Faire Tokyo 2020 初参加の大学生の感じたこと」

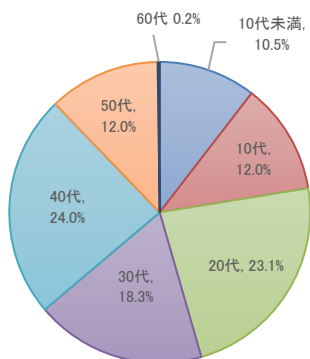


ATTENDEE：来場者属性（1）

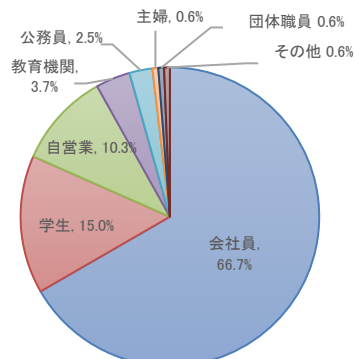
Make:

Maker Faire Tokyo 2020(2020年10月実施) 来場者アンケートより Webフォームからの回答／割合は未回答者を除く

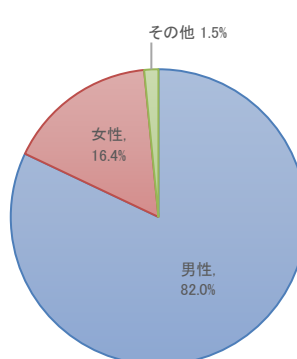
01.年齢層 (n=459)



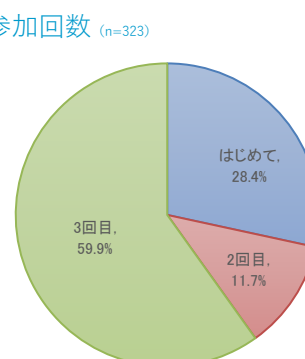
02.職業 (n=321)



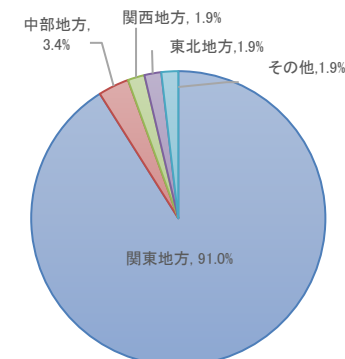
03.性別 (n=323)



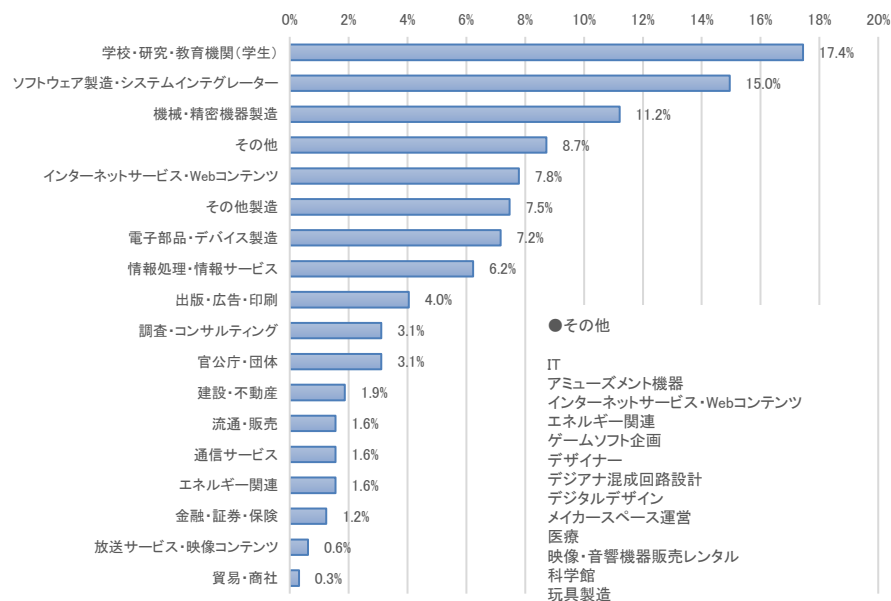
04.Makeイベントへの参加回数 (n=323)



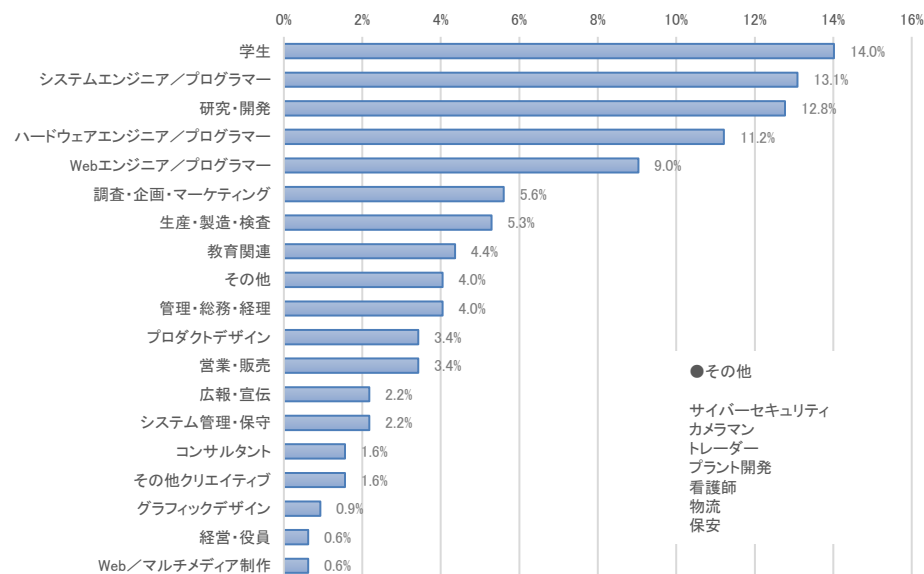
05.居住地域 (n=330)



06.業種 (n=321)



07.職種 (n=321)

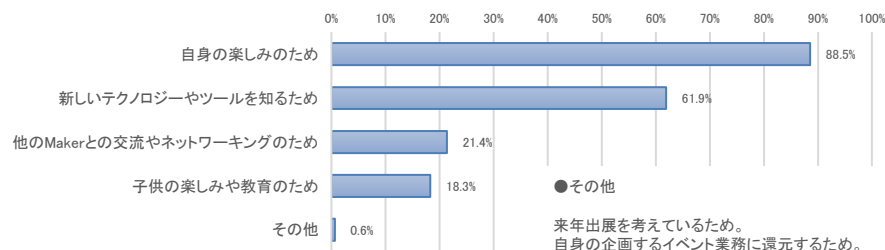


ATTENDEE：来場者属性（2）

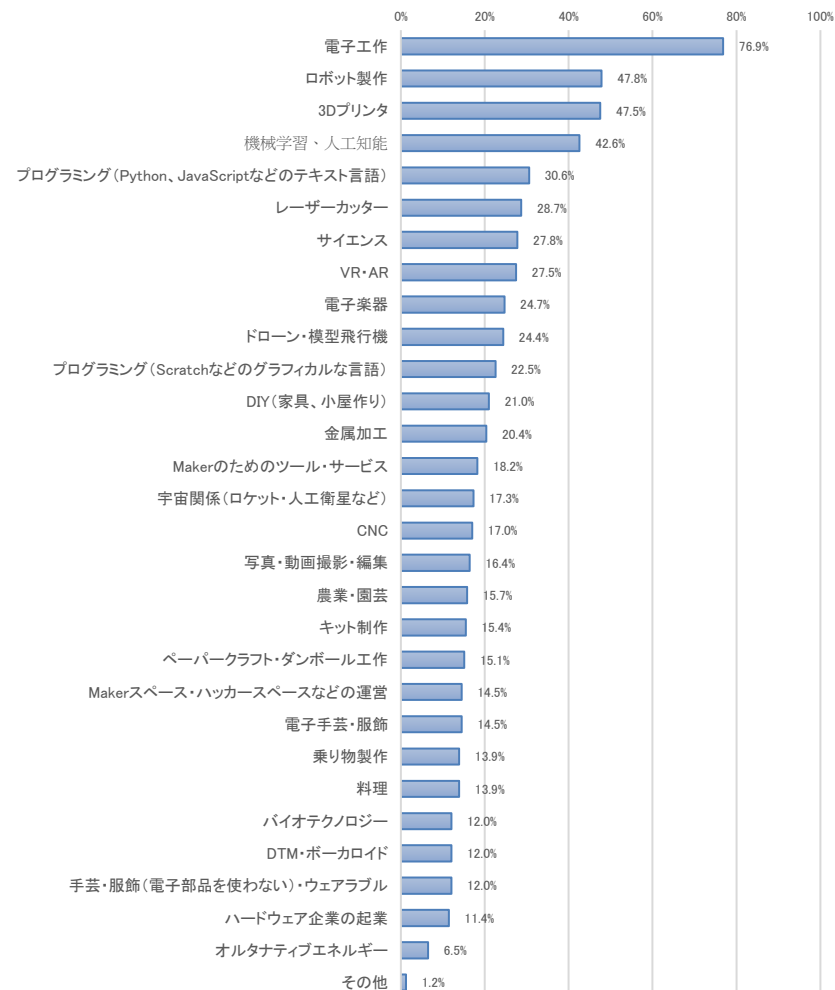
Make:

Maker Faire Tokyo 2020(2020年10月実施) 来場者アンケートより Webフォームからの回答／割合は未回答者を除く

08. Maker Faire Tokyoへの参加目的 (n= 323・複数回答)

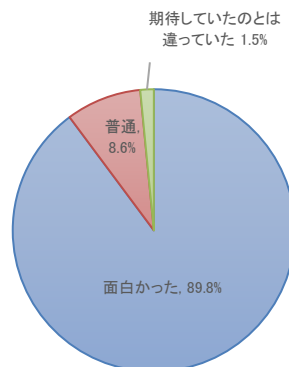


09. 現在興味があるもの (n=324、複数回答)



10. 感想 (n=324)

- ・ 今後もとにかく継続して欲しい。
- ・ オンサイトで開催してくれてありがとうございます。
- ・ ソーシャルディスタンスを守っての開催ありがとうございます。
- ・ できれば、バイオテクノロジー関係をもっと増やして欲しいです。
- ・ メイカーさん達の作品にとっても刺激を受けます。また来年も是非開催してください。ありがとうございました。
- ・ メイカーの作業机とか作業場を見たいです。
- ・ もっとイベント情報など見やすくなると良い。
- ・ 何年か続けてきていると目新しい出展が無くなってくる課題が出てきている気がします。
- ・ 今回ブースが少なかった代わりに、じっくり質疑応答してたら5時間かった。
- ・ 内容も濃くて、とても楽しめた。
- ・ 来年も頑張って開催してください。

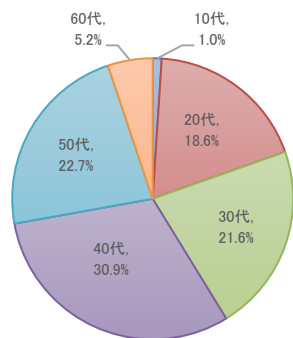


MAKER：出展者属性（1）

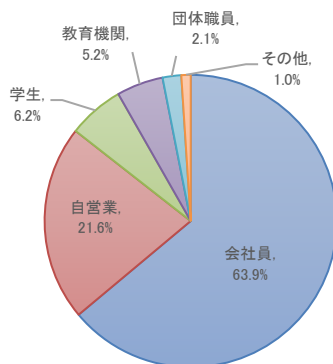
Make:

Maker Faire Tokyo 2020 (2020年10月実施) 出展者アンケート(Webフォームからの回答)および出展・協賛申込情報より／割合は未回答者を除く

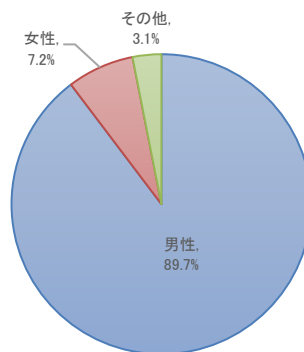
01.年齢層 (n=97)



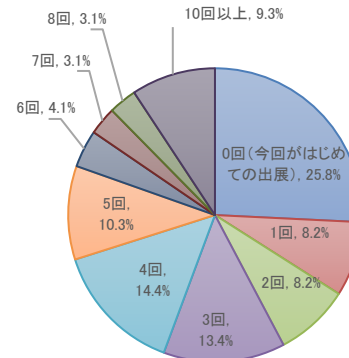
02.職業 (n=97)



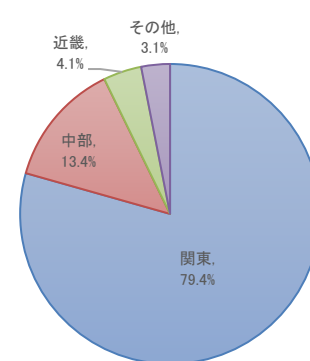
03.性別 (n=97)



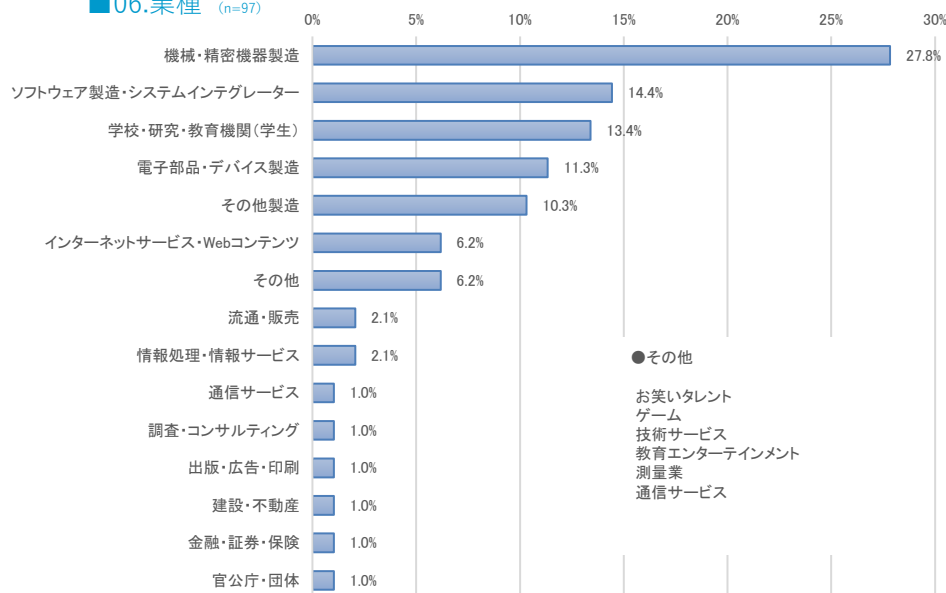
04.過去の出展回数 (n=97)



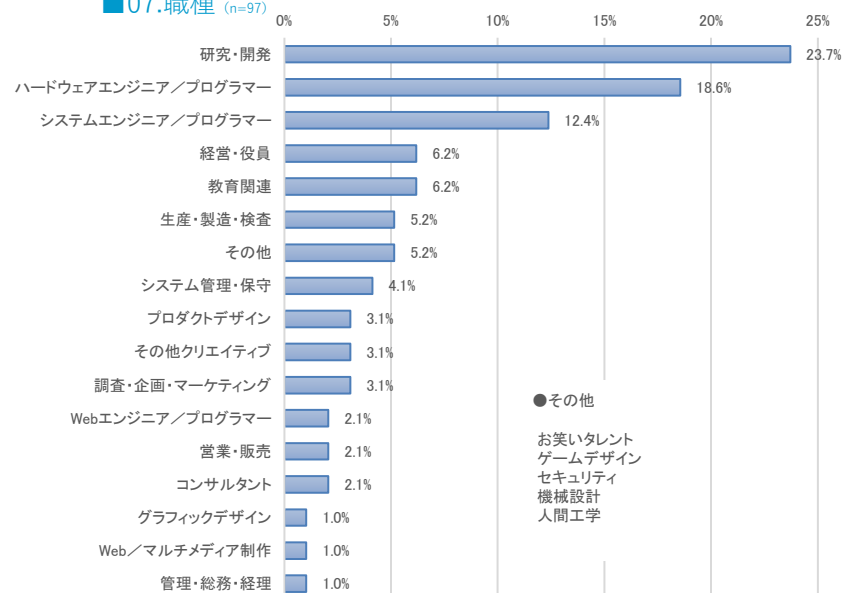
05.地域 (n=97)



06.業種 (n=97)



07.職種 (n=97)

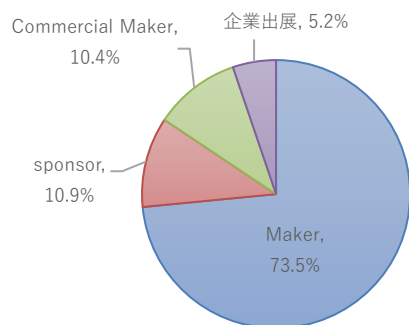


MAKER：出展者属性（2）

Make:

Maker Faire Tokyo 2020 (2020年10月実施) 出展者アンケート(Webフォームからの回答)および出展・協賛申込情報より／割合は未回答者を除く

08.出展区分カテゴリー



Maker：

販売を行わない個人、またはグループ [教育機関、コミュニティ]

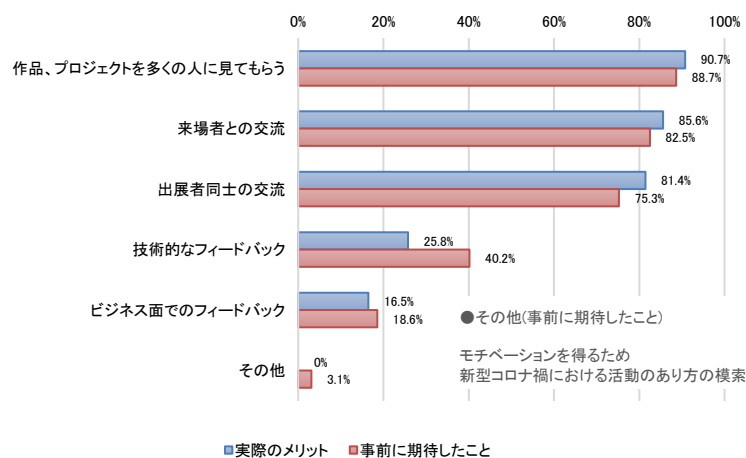
Commercial Maker：

販売を行う個人、またはグループ [教育機関、コミュニティ]

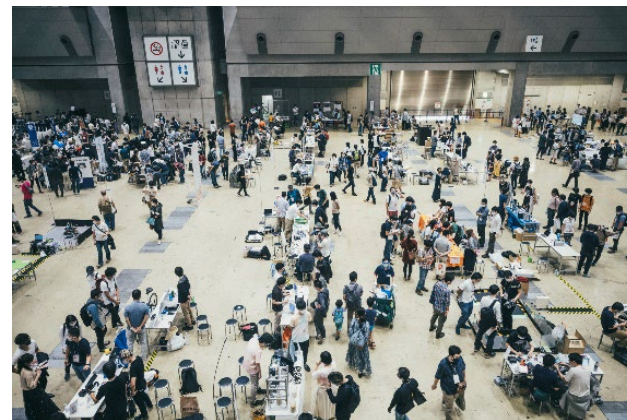
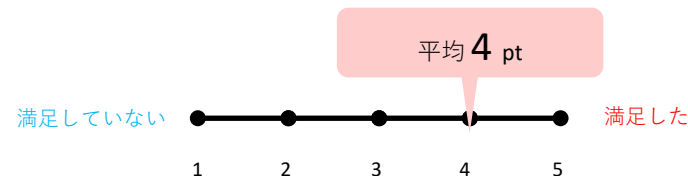
企業出展：

企業名義（企業名、製品・サービス名が出展者名や出展情報に含まれる）で出展

09.出展して得られたメリット (n=97、複数回答)



10. スポンサー：今回の出展の満足度 (5段階評価)



“I hope you can see what makes Maker Faire Tokyo special are the Japanese makers. They combine technical skill with a very playful mindset that I find engaging and fun.”

By Dale Dougherty, the Founder of Maker Faire

Maker Faire Tokyo 2022 概要

Confidential

Make:

名称： Maker Faire Tokyo 2022（略称：MFT2022）

会期： 2022年9月3日（土）12:00～17:00、9月4日（日）10:00～16:00（予定）

搬入日… 9月2日（金）午後、9月3日（土）午前

会場： 東京ビッグサイト（東京国際展示場） 西4ホール

主催： 株式会社オライリー・ジャパン

来場者：物作りや新しいテクノロジーに関心を持つ幅広い年代の方。**STEAM**・教育に関心のある
家族連れ、IT・製造業のエンジニア職、工学・情報・デザイン系学生など

想定参加人数（2日間計）：来場者数 8,000人／出展者数：200組

協賛： **Make**の精神を理解し、支援したいと考えるメイカームーブメントと親和性のある企業

入場料（予定）：大人 1,000円、18歳以下 500円（税込）

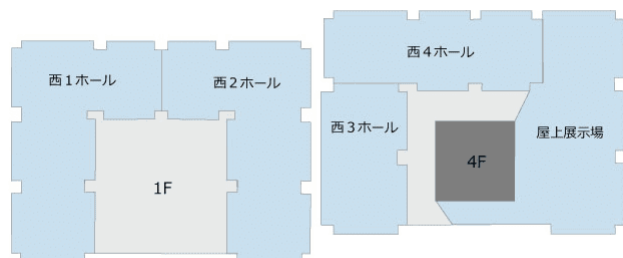
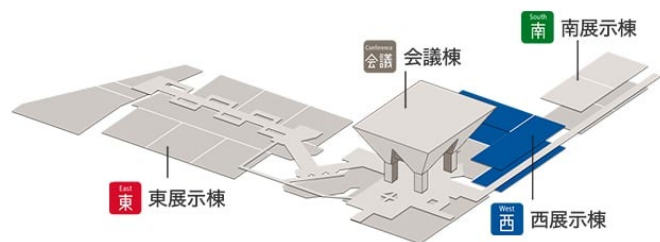
*未就学児、障がい者手帳所持者は本人及び付き添いの方お一人まで無料

ウェブサイト：<https://makezine.jp/event/mft2022> ※2022年2月下旬ごろティザーサイト公開予定

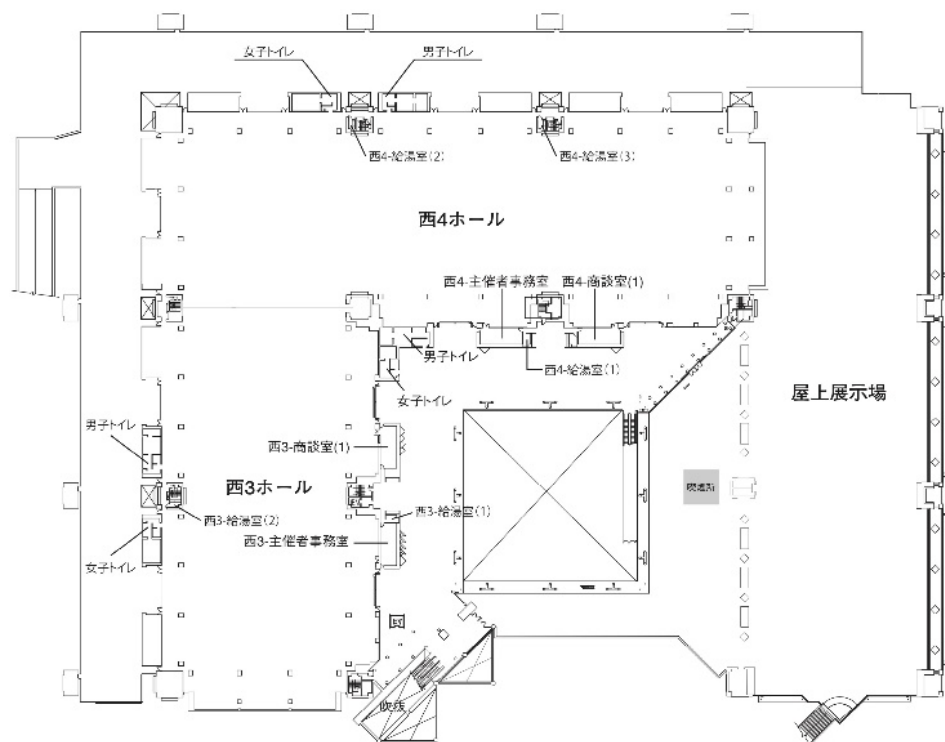
Maker Faire Tokyo 2022 会場図

Make:

西4ホール 展示面積: 6,840 m²



施設案内より



●次世代を担う「Young Maker（学生メイカー）」を支援します

2021年から学生・教育機関の方に負担が少ない出展料体系を導入したことで、大学を中心に、これまでMaker Faire Tokyoに出展したことがない分野や学校の出展申し込みが大幅に増加しました。本年は「Young Maker Challenge」コンテスト（別途ご案内予定）なども実施し、さらなる出展増につなげます。

●オンライン企画をより充実させていきます

手探りだったオンラインイベントについても、より多くの方に楽しんでもいただけるような形になりました。

- ・「Maker Faire Kyoto 2020」（パネルディスカッション2本+Twitter投稿企画）
- ・「Maker Faire Tokyo 2020」（2日間のYouTube Live配信［ステージ、会場内の様子の配信］）
- ・「Maker Faire Kyoto 2021」（オンラインワークショップ+スポンサー動画の配信+Twitter投稿企画）
- ・「Maker Faire Tokyo 2021」（講演+ **オンサイトイベント出展予定者によるオンラインミニプレゼンテーション**
+ オンラインワークショップ+スポンサー動画の配信+Twitter投稿企画）

2022年も、さまざまな事情からオンサイトイベント会場へのご来場が難しい方でもご参加いただけるようなハイブリッド（オンライン）イベントを企画、運営していきます。

●参加者の安全を優先して開催形態を決定します

2020年の新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、Maker Faire Tokyo / Kyotoは、出展者（スポンサー含む）、来場者、スタッフの安全を優先して、適切な形態にて開催してきました。本年も参加者の安全を優先した開催形態にて開催を行います。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

オンラインイベント内容（予定）

Make:

オンラインイベントについては、Maker Faire Kyoto 2021、Maker Faire Tokyo 2021の経験をもとに企画を見直しながらプログラムを設定します。開催形態に関わらず、出展（予定）者のプレゼンテーションやコンテストの配信、ワークショップなどの動画を配信します。オンサイトイベント開催の場合は、会場で行われている特別講演や会場レポートなどの配信も予定しています。

- ・特別講演、基調講演、パネルディスカッション など
- ・出展者・スポンサープレゼンテーション
- ・会場レポート
- ・スポンサー動画
- ・コンテスト作品紹介、結果発表、表彰式 など
- ・ワークショップ動画、リアルタイムワークショップ
- ・Young Maker Challenge

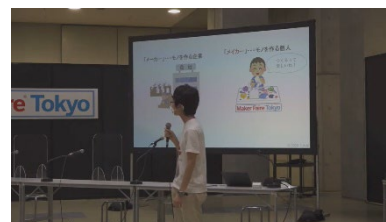
※ 企画は、変更の可能性があります。



基調講演



パネルディスカッション



出展者プレゼンテーション



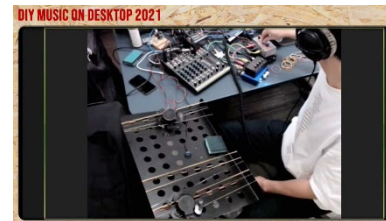
スポンサープレゼンテーション



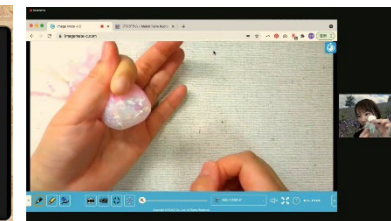
会場レポート



コンテスト表彰式



オンラインライブパフォーマンス



オンラインワークショップ

協賛のご案内

Maker Faire Kyoto/Tokyo は「メイカー」が参加する、国内において最大級のイベントです。イベント運営およびメイカーの出展は、多くの協賛社のご支援によって実現しております。

本イベントへの協賛を通じ、メイカームーブメントやメイカーの皆様に対する支援を賜るとともに、日本全国、海外から集まる出展者や、物を作ること・最新のテクノロジーに関心を持つ来場者が一堂に会する機会を活用いただければ幸いです。

1. メイカーコミュニティに対し、貴社及び貴社商品を認知させることができます

展示だけでなく、プレゼンテーション、ワークショップなど製品や技術をアピールする機会をご用意しています。コアユーザーと直接コミュニケーションをとることができるMaker Faireでは、プロトタイプや新サービスを実演し、意見、反響を探る作り手・企業も多く見られます。また、近年はこれから物作りを始めたいエントリーユーザーの来場も増加、新規層向けの製品を訴求することも可能です。オンライン配信も行うことから、遠方の方など会場への来場が難しい方々にも、アピールいただけます。

2. 新しいパートナーシップ／プロジェクトの可能性が広がります

Maker Faire で出会い、新しいプロジェクトや交流が始まるなど、メイカーや出展企業間のコラボレーションが生まれる場でもあります。

3. 「メイカーを支援する」という姿勢を国内外に広く訴求、ブランドイメージの向上につなげます

個人のユニークな展示に加え、近年は企業のメイカー向け製品発表も行われ、国内各種メディアから高い注目を集めています。また、米国Make:を始め、海外ネットワークや国外のメイカーコミュニティからの視察、取材も増えています。



協賛実績

Make:

過去のご協賛企業（一部・順不同）



協賛・展示事例

Make:

■ユーザーコミュニティや社内メイカーの作品紹介



KDDI：au未来研究所と鹿島アントラーズFCの
コラボハッカソンでの成果物の展示



タカハ機工：ソレノイドコンテストの入賞作
品や社員制作の応用作品の展示

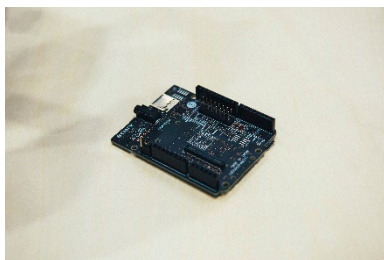


インターネットイニシアティブ：農業IoT展示
と、社内公募によるオリジナルIoT作品の展示



JapanTaxi：自社オリジナルコンテンツと実車
両を使ったプロダクト体験

■新製品の先行販売、テストマーケティング…事務局と同時リリース配信の連携も



ソニーセミコンダクタソリューションズ：マ
イコンボード「SPRESENSE」を先行販売



セメダイン：「フレキシブル導電性接着剤」を
限定販売、テストマーケティングに活用



toioプロジェクト：製品化前のプロトタイプ
デモを行い、フィードバックを収集



アフレル：発売前のプログラミング教材
「SPIKE™ プライム」のデモ体験実施

“自由な発想を持つお子さんが多く参加されているのが印象的でした。
普段クラフト系のワークショップなどを行うのですが、
親御さんの意見が強くお子さんが自由にできていないシーンを目にします。
それが無い方々が参加されているのだという印象でした。”

Maker Faire Tokyo 出展者のアンケートより

“Make文化を起点に人の交流が発生したり、仕事に繋がったり（中略）上層部の方に
見ていただいたり想定外の良いことが起こりました。また、メンバーも終了2日後に
何かインスピレーションを得て仕事に繋がる話をくれました。
想定していた以上の効果がでて、もっともっと何かやってみたい気持ちが膨らみました。”

Maker Faire Tokyo スポンサーアンケート「出展の感想」より

協賛・展示事例

Make:

■オンラインプレゼンテーション



株式会社マクニカ：新製品BT5.0超小型モジュールとSTEAM教育プロジェクトの紹介



キオクシア株式会社：普段目にすることが少ないビックデータ社会を支えるSSDやフラッシュメモリの技術を紹介

■プレゼンテーション／ワークショップ／ハンズオン



オートデスク：米国本社CEO（当時）が来日、海外のメーカーを取り巻く環境について紹介



littleBits（コルク）：「littleBitsでドローンサッカー対決をしよう！」小学生向けワークショップ

■実験的な取り組みの成果発表、コラボレーション



任天堂：Nintendo Labo体験とMFT出展者のオリジナルラボ作品の展示



タイカ×DMM.make AKIBA：タイカのαGELを使ってDMMで開催したイベントのプロダクト展示

■機材協力・出展者サポート



白光：出展者のための「はんだ修理PIT」へ機材協力。社員の方による技術アドバイスも



セメダイン・デジタルハイク：デザインワークショップ「Nerdy Derby」への資材提供

“若い世代、これからの世代、好奇心旺盛な世代、
今までないものを生み出したいと企んでいるすべての人たちに
弊社製品の存在を知らせたいと思いました。”

Maker Faire Tokyo スポンサーアンケート「協賛の目的」より

“来場者の皆様にとっても興味を持っていただき、
有意義なコメントを沢山頂戴いたしました。
なかなか会えない海外のVIPやパートナーさんとも気軽にお話しができ、
コラボのきっかけをいただきました。”

Maker Faire Tokyo スポンサーアンケート「出展の感想」より

■ 感染防止対策 (Maker Faire Tokyo 2020 の実施例)



ベネッセ：遠隔の学生とオンライン来場者を繋げる新たな手法を取り入れた「School Maker Faire」。



マクニカ：触れずに遊べるキットのプロトタイプを展示。遠隔のスタッフによって解説され、会場にはメンテナンススタッフのみが常駐。



RSコンポーネンツ：ソーシャルディスタンスを保つためにブース内の人数を管理するための新たな機器を導入。



スイッチサイエンス：接客を最小限にするため、商品解説のパネルボードを設け、商品は該当のカードをレジに持参して購入する。



FUTURE LIFE FACTORY：ブースに防炎のアクリルシートを設置。



主催者とスポンサー共催企画の表彰式：遠隔参加も可能にして開催。約半数が遠隔参加となった。

“COVID-19関連で取り入れた新たな試みが、
結果として運用面でもやりやすく、
話題性もあげられることがわかり、感染症対策としてでなく、
今後も取り入れることになりそうです。”

Maker Faire Tokyo スポンサーアンケート「出展の感想」より

“感染症の影響で開催の有無、開催するにあたっての準備など、
想像を絶する大変さだったと思いますが、
わかりやすい丁寧なご案内をいただけて、準備も進めやすかったです。”

Maker Faire Tokyo スポンサーアンケート「出展の感想」より

オンサイト協賛プラン

(「オンライン協賛プラン」は、36ページ)

Confidential

Make:

※内容は、変更となる可能性がございます。 ※価格はすべて税別

プラン	PRESENTING SPONSOR (2社)	PLATINUMSMITH SPONSOR	GOLDSMITH SPONSOR	SILVERSMITH SPONSOR	COPPERSMITH SPONSOR	STARTUP SPONSOR (※1)	(ご参考) 企業出展
協賛料	要問い合わせ	要問い合わせ	要問い合わせ	要問い合わせ	要問い合わせ	要問い合わせ	10万円
ロゴ掲示 (プログラムガイド・ウェブ・会場サイン)	特大 イベントタイトル掲示	大	中	中	小	小	なし
展示スペース (mm)	8,400×8,400 相当	8,400×4,200	4,200×4,200	4,200×2,100	2,100×2,100	2,100×2,100	2,100×2,100
プランに含まれる備品	なし (備品レンタル可)				長机1本・椅子2脚 (追加レンタル可)		長机1本・椅子2脚
プレゼンテーション・ワークショップ (※2)	オプション 20万円						申込可 出展者枠で選出
スポンサータグの提供 (※3)	40枚	30枚	20枚	10枚	10枚	8枚	4枚 出展者タグ
招待券の提供 (※4)	50枚	40枚	30枚	20枚	10枚	8枚	なし
電源 (※5 コンセントは全ブースに設置)	①事務局によるコンセント設置／ ②出展者による2次幹線工事 より選択			①事務局によるコンセント設置			
電気工事費・使用料 (※5)	別途 1万円～ 一次側幹線工事費 + 電気使用料 + コンセント追加費 が必ずかかります (費用や自社工事する場合は※6参照)						なし
インターネットの使用	有線LANネットワーク利用 (有料) は、東京ビッグサイトへのお申し込みとなります。協賛申込完了後に、窓口をご案内いたします						なし

●新型コロナウイルス感染症などの状況により、やむを得ずオンサイトイベントを中止する場合は、オンサイトーオンライン変更枠として、下記プランをご用意いたします。

【プラン】オンサイトスポンサー申込時と同様 【配信料】要問い合わせ ※オンサイトスポンサー料をご返金後、再度請求書をお送りいたします。 ※COPPERSMITH SPONSOR 以上が対象

【プラン内容】動画 (5分)、またはZoomミーティングでのトーク (5分のプレゼンテーション+質疑応答) の配信 【動画提出〆切】開催日の約10日前

※ 5分以上の動画配信をご希望の企業さまは、オンライン協賛プラン (P.36) でのご参加も可能です。 (動画提出〆切は、上記と同様)

※1: 社数限定でSTARTUP SPONSORを募集します。 [該当条件] 業務内容やプロダクトがMaker Faireの趣旨に沿った企業であること/創業5年以内の企業であること (イベント開催時)/従業員数が10名以下であること/資本金3,000万円未満であること/年商1億円以下であること。/申込後に審査がございます。

※2: [協賛申込時に申し込み] プレゼンテーション・ワークショップの枠には限りがあり、先着順の受付となります。実施詳細・規定は「協賛募集要項」をご覧ください。

以下、追加のタグ・招待券は「出展内容申請」時にお申し込みいただけます。

※3: 搬入出・会期中会場への入場にはタグが必要です。追加スポンサータグ: 1枚900円

※4: 一般来場者としてご入場いただける招待券です。1枚につき1日限り2名様

ご入場いただけます (2名が同時に入場する場合に限り)。 追加招待券セット: 10枚7,000円。

※5: ①②いずれかの工事を選んでいただき、会期後に請求をさせていただきます。

①事務局による設置: 幹線工事費 (2,000円) + 電気使用料 (1kwごと8,000円) + コンセント追加費 (1ヶ所2口ごと100V: 2,800円、200V: 15,000円/1.5kwごとに1ヶ所追加が必要) ②出展者による2次幹線工事: 電気使用量 (1kwごと8,000円) ※各島ごとに1~2個の分電盤が設置されます。2次工事範囲は分電盤以降となります。

■費用が別途かかるもの

備品レンタル (テーブル1台 3,200円、椅子1脚 640円 ほか) /追加タグ・招待券
/有線LANネットワーク利用/床工事/オプションメニュー

プラン	PRESENTING SPONSOR	PLATINUMSMITH SPONSOR	GOLDSMITH SPONSOR	SILVERSMITH SPONSOR	COPPERSMITH SPONSOR	STARTUP SPONSOR	(ご参考) 企業出展
展示スペースの配置	最重要地へ配置 申込順と事務局内の検討により決定			重要地へ配置 事務局内の検討により決定			事務局内で決定
変形スペース・壁面指定 (オプション)	事務局と相談のうえ決定 (変形 見積)		指定可 (壁面 各5万円税別／変形 見積)		指定なし		

Presenting Sponsor

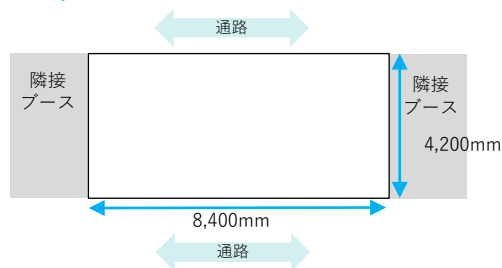
Prime location

8,400mm×8,400mm相当

スペースレイアウトは事務局と相談のうえ決定

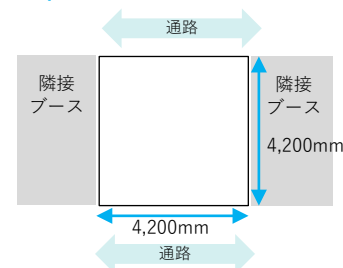
Platinumsmith Sponsor

Important location



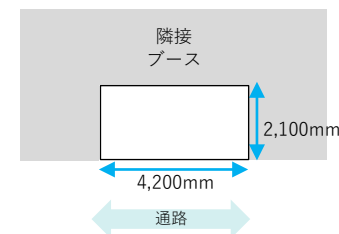
Goldsmith Sponsor

Important location



Silversmith Sponsor

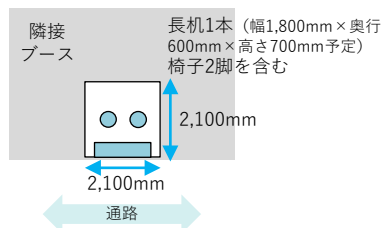
Good location



Coppersmith Sponsor

Startup Sponsor

Good location



■壁面スペースのご指定

会場の壁面を背にしたスペースをご指定になる場合は、壁面スペース指定料を申し受けます。

- ・ Goldsmith Sponsor/Silversmith Sponsorのみ
- ・ 先着順にて受付・数に限りあり
- ・ 低天井で若干暗くなります。照明のご用意をお願いいたします

■変形スペースのご要望

通常以外の形状のスペースを希望される場合は、変形スペースレイアウト費用ならびに追加スペース料金 (要見積) を申し受けます。

- ・ Silversmith Sponsor以上

※感染拡大対策のため、隣接ブースとの間に600mmのスペースを確保しますが、物などの設置はできませんので、予めご了承ください。

■他出展者との隣接・共同展示のご要望

スポンサー同士の隣接は、各々申請いただければ調整可能です (先着順)。スポンサー出展エリア内で、他のMaker (企業、団体、個人) との隣接はできません。スポンサー展示スペース内で他の企業、団体、個人が共同展示を行う場合は申し込み時に必ず明示ください。

ポリシー詳細は「協賛申込要項」を参照ください。

■展示スペースの注意点

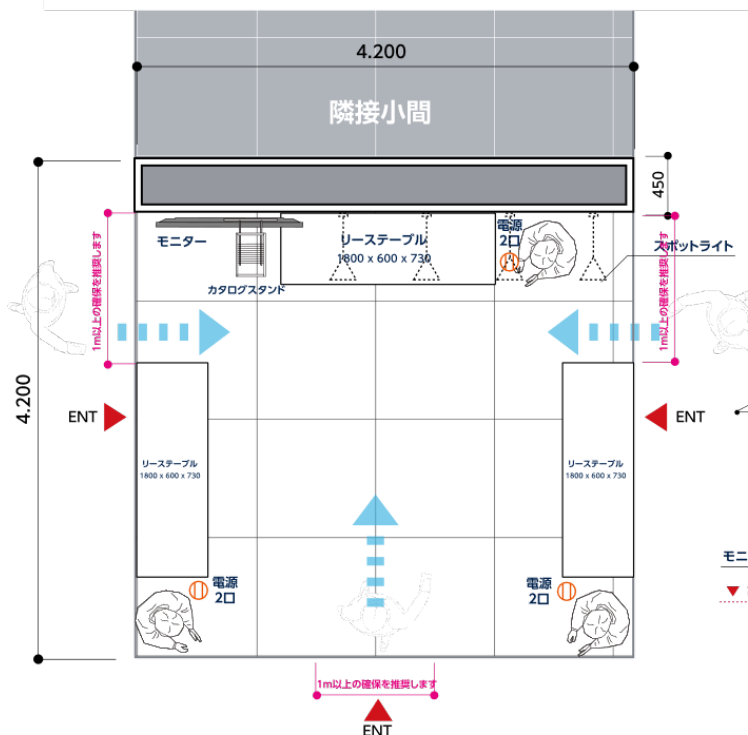
- ・ 装飾や出展にあたっての規定は「協賛募集要項」および「スポンサーマニュアル」をご確認ください。
- ・ 通路に接している面はスペースの配置により増える場合があります。
- ・ スペース内での展示となります。通路での誘導、アンケートなどはご遠慮ください。

展示スペース（プラン別出展例）

Make:

Maker Faireは、スポンサー・出展者合わせた会場の一体感が特徴となっています。
ご出展の際には、写真や図面をブースづくりの参考にしてください。

Goldsmith Sponsor <展示中心レイアウト>

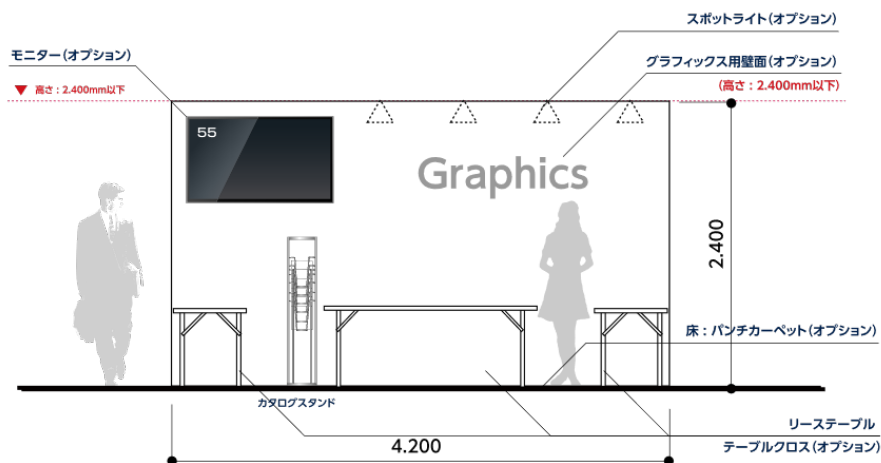
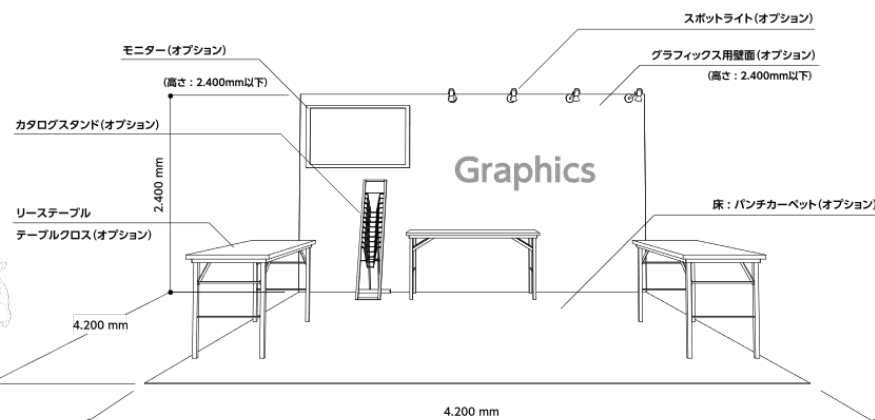


<高さ制限>

- ・小間の周辺にはできるだけ壁面を設けないことが望ましいが、もし、設ける場合は以下の条件によるものとし、隣接小間の出展者様とよく連絡調整をはかり、お互い迷惑にならないよう事前に配慮して下さい。
- ・装飾物及び装飾壁面の高さは2.4mまで。
- ・天井からの吊り下げ表示物及びバルーン等の設置はできません。

<来場者への安全配慮について>

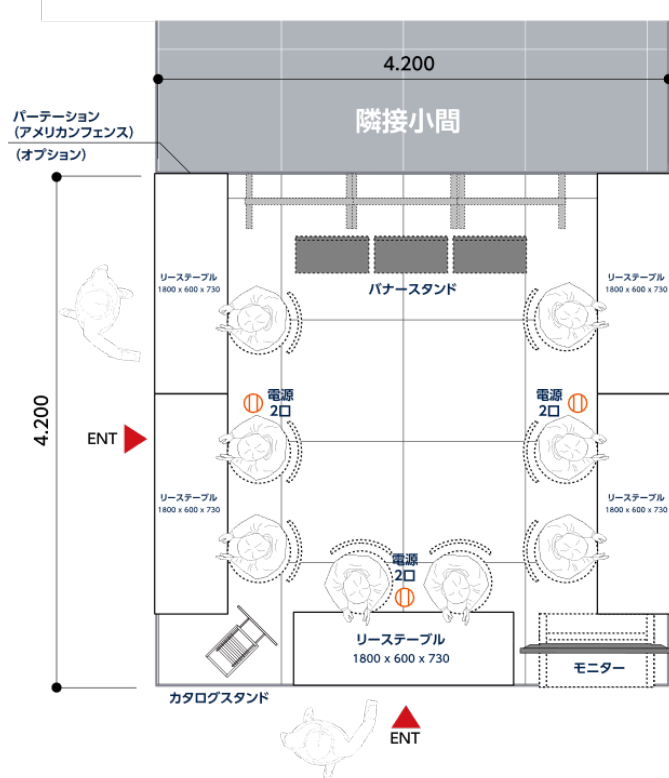
- ・ブース内に来場者通路を設ける場合は通路幅1m以上の確保を推奨します。
- ・装飾及びレイアウトにつきましては、来場者の安全に充分配慮してブース運営を行っていただくようお願いいたします。



展示スペース（プラン別出展例）

Make:

Goldsmith Sponsor <販売中心レイアウト>

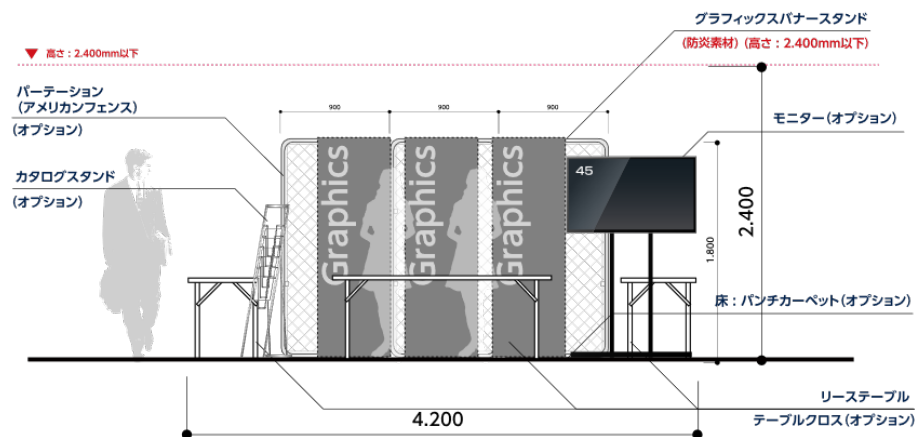
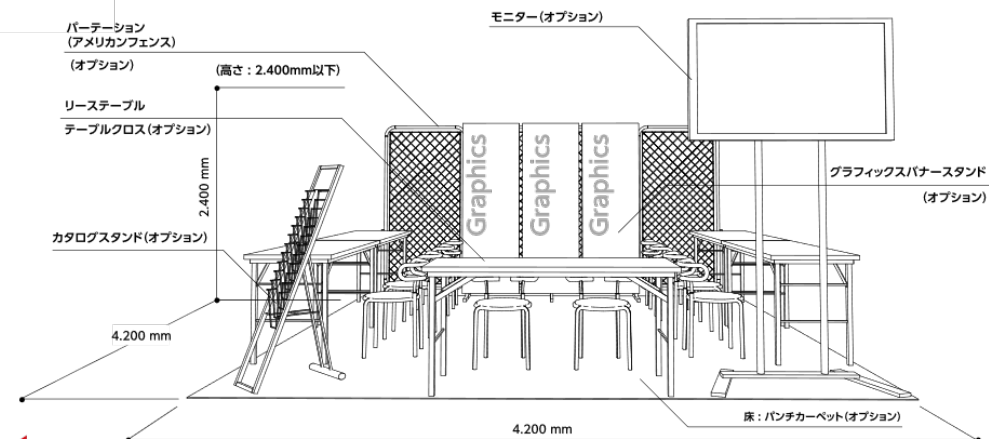


< 高さ制限 >

- ・小間の周辺にはできるだけ壁面を設けないことが望ましいが、もし、設ける場合は以下の条件によるものとし、隣接小間の出展者様とよく連絡調整をはかり、お互い迷惑にならないよう事前に配慮して下さい。
- ・装飾物及び装飾壁面の高さは2.4mまで。
- ・天井からの吊り下げ表示物及びバルーン等の設置はできません。

＜ 来場者への安全配慮について ＞

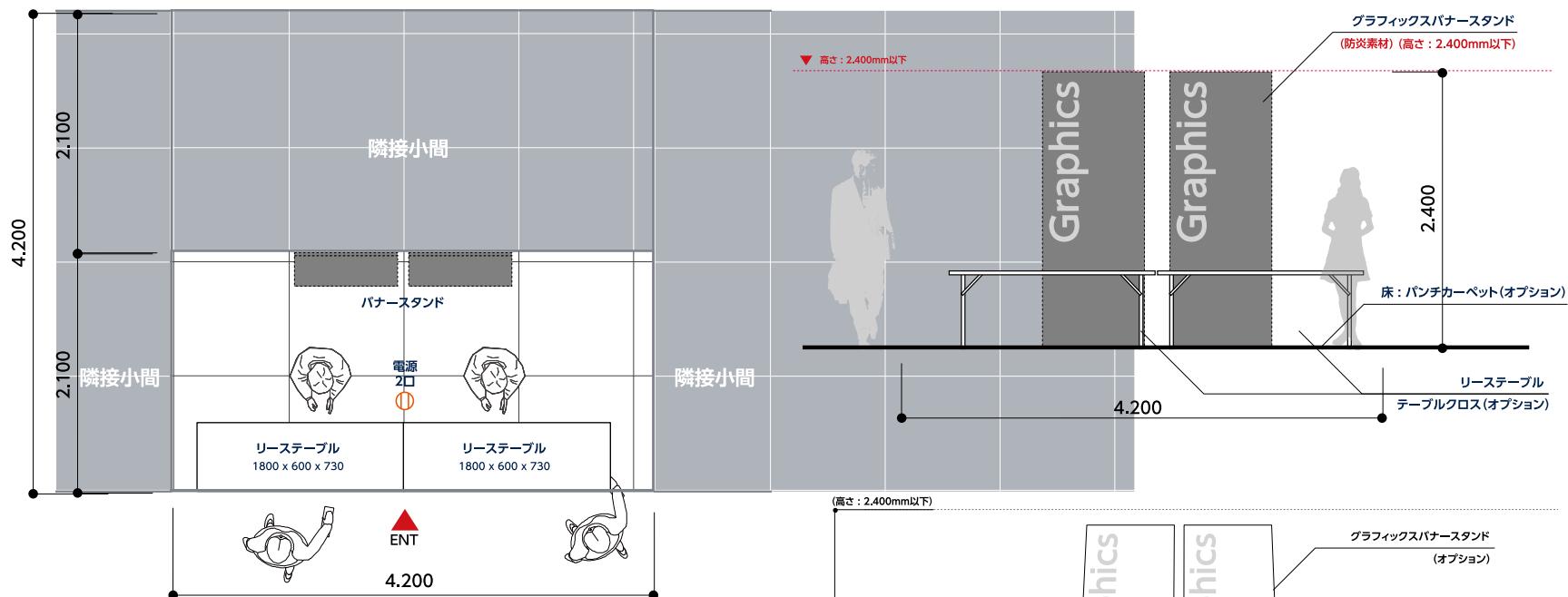
- ・装飾及びレイアウトにつきましては、来場者の安全に充分配慮してブース運営を行っていただくようお願いします。



展示スペース（プラン別出展例）

Make:

Silversmith Sponsor

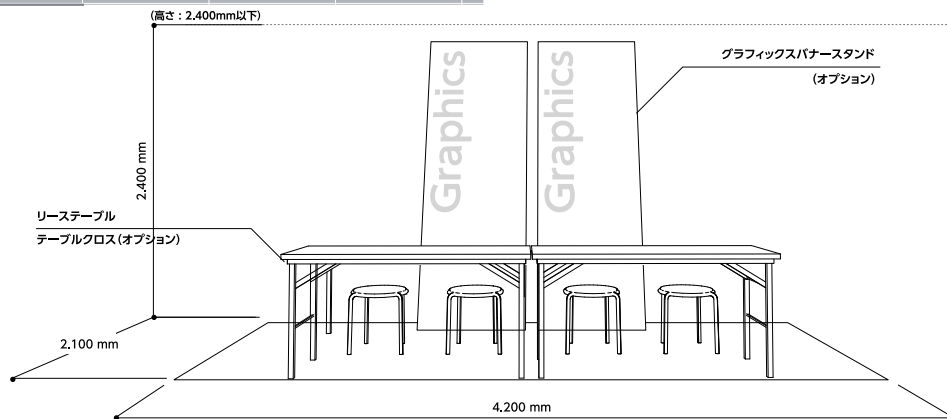


< 高さ制限 >

- ・小間の周辺にはできるだけ壁面を設けないことが望ましいが、もし、設ける場合は以下の条件によるものとし、隣接小間の出展者様とよく連絡調整をはかり、お互い迷惑にならないよう事前に配慮して下さい。
- ・装飾物及び装飾壁面の高さは2.4mまで。
- ・天井からの吊り下げ表示物及びバルーン等の設置はできません。

< 来場者への安全配慮について >

- ・ブース内に来場者通路を設ける場合は通路幅1m以上の確保を推奨します。
- ・装飾及びレイアウトにつきましては、来場者の安全に充分配慮してブース運営を行っていただくをお願いします。



その他メニュー・協賛 [オンサイトオプション] **Make:**

ご要望に応じて活用いただける、各種オプションメニューをご用意しています。（申込対象は協賛社のみ、価格はすべて税別）

■ プレゼンテーション

20万円

時間：20分

参加定員：80名程度（予定）

※オンライン配信あり

- ・ステージでの動画のみの投影も可
- 10分／10万円
- 20分／20万円



■ Maker Classroom

20万円

Maker Faire Tokyo 2022 では、スペースのご用意はありませんが、教育向けの企画・ワークショップなどは歓迎いたします。まずは、事務局までご相談ください。



■ ハンズオン（事務局とのコラボレーション企画）

費用は内容・使用スペースなどに応じて決定

来場する家族連れ向けに、物作り体験企画の実施を歓迎いたします。

【事務局】ハンズオン用のスペースをご提供いたします。

【企業様】ハンズオンの運営

※受付等にスタッフが必要な場合には、ご紹介が可能です（要見積）



■ Maker Garage

- ・ Maker向けツールの展示エリア。工具／機材／素材などの出展を歓迎

■ ユーティリティスペース（バックヤード／商談室など） ※30万円

※仕様例での参考費用。追加備品、仕様によってお見積もり。設置場所は事務局にて調整いたします ▼仕様例：間口2,970mm*奥行2,970mm*高さ2,700mm、システムパネル／鍵付きドア／蛍光灯2本／コンセント1か所2口（電気1kw込）

■ プログラムガイド広告 ※要見積

- ・ 会場で配布するプログラムガイド内の広告スペースを提供いたします

■ 出展内容紹介ページのカスタマイズ ※要見積

■ インフラ／設備スポンサー ※要見積

- ・ エアコン／会場ネットワーク／電気（発電）／チャージャーブース／来場者休憩スペース設備／フード／ドリンクなどのサポート

■ 配布物（印刷物／グッズ） 1点8万円

- ・ 来場者が自由に持ち帰ることができる配布物を、エントランスに設置
- ・ 印刷物は16P・サイズA4まで、部数は5,000部まで
- ・ グッズの場合はサイズ・配布数要相談

■ 企業内Maker Faire の実施（SILVERSMITH SPONSOR 以上）

- ・ 企業内Maker Faireの開催をサポートいたします
- ご興味のある企業様は、お問い合わせ（sponsors@makejapan.org）ください

展示スペース（プラン別出展例）

Make:

Maker Faireは、スポンサー・出展者合わせた会場の一体感が特徴となっています。
ご出展の際には、下記写真をブースづくりの参考にしてください。

Platinumsmith Sponsor



Goldsmith Sponsor



Silversmith Sponsor



Coppersmith Sponsor／Startup Sponsor



オンライン協賛プラン

Confidential

Make:

※内容は、変更となる可能性がございます。 ※価格はすべて税別

プラン	PLATINUMSMITH SPONSOR	GOLDSMITH SPONSOR	SILVERSMITH SPONSOR	COPPERSMITH SPONSOR	STARTUP SPONSOR (※1)
協賛料	要問い合わせ	要問い合わせ	要問い合わせ	要問い合わせ	要問い合わせ
ロゴ掲示（プログラムガイド・ウェブ・会場サイン）	大	中	中	小	小
動画配信、またはミニプレゼンテーション枠の提供（※2）	10分 または 20分		5分 または 10分	5分／2.5万円 ※任意	—
	Make: Japan公式Twitterアカウントより、プレゼンテーションの告知を行います（事前1回、当日1回）				
オンラインアンケートの実施（※3）	5問まで設定可（6問以上 要見積）			—	—
スポンサータグの提供（※4）	15枚	10枚	5枚	5枚	4枚
招待券の提供（※5）	20枚	15枚	10枚	5枚	4枚

【オプション】

■オンサイトブースでのチラシ設置 12.5万円～

スペース：長机 1 本分

※ポスター展示、モニター展示等のご要望も承ります（別途お見積）

※1：社数限定でSTARTUP SPONSORを募集します。【該当条件】業務内容やプロダクトがMaker Faireの趣旨に沿った企業であること／創業5年以内の企業であること（イベント開催時）／従業員数が10名以下であること／資本金3,000万円未満であること／年商1億円以下であること。／申込後に審査がございます。

※2：ミニプレゼンテーションとは、Zoom上でのプレゼンテーションです。

申込時に希望の配信分数をご選択ください（ミニプレゼンテーションの場合は、5分または10分）。

動画配信・ミニプレゼンテーション枠には限りがあり、先着順の受付となります。※任意

配信動画は、MakeのYouTube 公式チャンネルにアーカイブされます。著作権などの問題がないよう作成をお願いします。問題が発生した場合には、編集などに掛かる費用を別途ご請求する場合がございます。

※3：動画内にアンケートにアクセスするためのQRコードを表示いただける場合のみ、オンラインアンケートの実施が可能です。回答者に、抽選でMFTオリジナルグッズや参加企業さまからの提供品をプレゼントします。個人情報の管理やプレゼント発送は弊社にて対応し、企業さまにはアンケートの回答内容のみ共有いたします。※ 任意

※4：会期中会場への入場にはタグが必要です。追加スポンサータグ：販売価格 1枚900円

※5：一般来場者としてご入場いただける招待券です。1枚につき1日限り2名様にご入場いただけます（2名が同時に入場する場合に限り）。追加招待券セット：10枚7,000円。

追加のタグ・招待券は「[出展内容申請](#)」時にお申し込みいただけます。

■費用が別途かかるもの

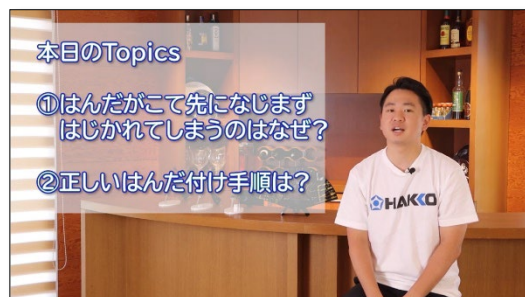
追加タグ・招待券／オプションメニュー

配信動画事例

Make:

- ・メイカー/ヤングメイカーを応援する内容の動画
- ・メイカーが使用する道具の使い方や使用例などに関する動画
- ・自宅でできる簡単ワークショップ動画 など

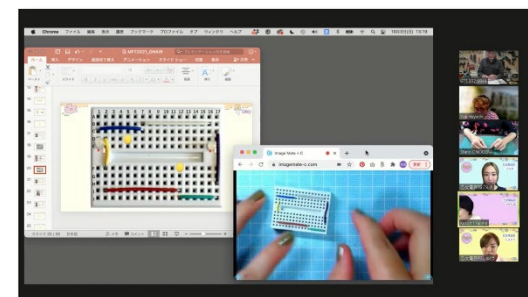
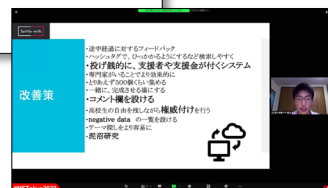
【配信動画例】



<https://youtu.be/dK8EsXBXUtc>



https://youtu.be/kZ_fePHKkaA



<https://youtu.be/6O4opExD3C0>

●提出スケジュール

- 5月17日（火）動画配信の有無の決定
- 6月30日（木）動画タイトル、紹介文（200文字）の締切
- 8月10日（水）動画の納品
- 8月22日（月）アンケート希望内容のご提出 ※オンラインアンケート実施の場合のみ

【納品動画の仕様】

- 画面サイズ）1920*1080（フルHD）
- 映像コーデック）H.264
- 音声コーデック）AAC
- ファイル形式）mp4

出展スケジュール

※各種書類等提出スケジュールは変更になる場合がある点ご了承ください。

Make:

月

運営スケジュール

出展者準備

4月

イベント、協賛募集概要のご案内

出展実績企業・お問い合わせ企業向け 優先申込開始

20日（木）協賛 一般申込開始

- ・ 申込内容の確認、出展者との調整
- ・ 申込企業へ出展費用の請求書発行

ウェブへのロゴ掲載

スポンサーロゴは
申込順で配置

5月

17日（火）協賛申込締切

- ・ ブース施工を事務局に委託する出展者と施工案の調整、見積

6月～
7月

申請内容のとりまとめ・所轄団体への申請
キックオフイベント開催

各種申請・ブースレイアウト・備品申込・搬入出申請
締切

- ・ 申請内容を確認のうえ、必要に応じて出展者と申請書やレイアウトを調整、安全対策の提案
- ・ 全出展内容を取りまとめ、会場・消防署・保健所へ申請
- ・ 電源工事設計発注

ウェブサイト上で出展者情報を公開

マニュアル・スポンサータグ・招待券の発送

出展計画、申込手続きの確認

- ・ イベントに合わせたプロモーション、マーケティング計画
- ・ スポンサープランの検討
- ・ 事務局との共同企画（オブション）の検討、相談

協賛申込手続き（4～5月）

- ・ 募集要項に沿った出展内容、名義、掲載ロゴを確定の上、申込手続き
- ・ 事務局との共同企画（コンテストや子ども向けの体験教室など）やリリース連携（新製品発表、プレゼンテーションなど）についての調整

【提出物】協賛申込書の提出／協賛申込フォーム入力／ロゴの送付

ブース・運営設計（5～6月）

- ・ ブースのレイアウト、装飾、備品、配布物、当日の人員配置などの検討
- ・ 事務局と出展位置の確定

出展費用の入金

各種申請・ブースレイアウト・備品・搬入出申請提出（6～7月）

- ・ ブースレイアウト図、出展内容、持ち込み備品、必要電源の申請
- ・ 危険物や食品の持ち込み申請
- ・ スポンサー入場用タグや招待券の追加発注
- ・ 事務局からレンタルする備品の申込
- ・ 搬入出方法の申請（車両搬入の場合は車両証を配布）

【提出物】出展内容調査フォーム入力／展示レイアウト図／危険物申請書（該当者のみ）
※6/27（月）まで

イベント出展についての情報発信

- ・ ウェブサイトやメールでの出展告知、リリース配信準備
- ・ 招待券やリーフレットの配布

出展スケジュール

※各種書類等提出スケジュールは変更になる場合がある点ご了承ください。

Make:

月

運営スケジュール

出展者準備

8月

備品、搬入出情報の協力会社への申請

- ・ レンタル備品の発注
- ・ 搬入出について物流・誘導計画作成

危険物・食品申請の出展者へのフィードバック

- ・ 消防署や会場による査察対象の出展者へ通知

直前リリース・取材手配

- ・ 全プログラムと見どころのリリース配信
- ・ 当日の取材調整

ウェブサイト上で出展者情報を公開

マニュアル・スポンサータグ・招待券の発送

9月

2日（金）搬入・施工

3日（土）・4日（日）**Maker Faire Tokyo 2022 開催**

オプションメニュー、電気・施工、備品追加、スポンサータグ、招待券、搬入出タグ費用の請求

来場者・出展者アンケート速報

11月

開催報告書の配布

自社施工の装飾造作や電気工事の発注

マニュアルを確認のうえ、搬入出スケジュールを計画
インターネット回線の申込（8月初予定／該当者のみ）

当日参加スタッフ・協力会社とのオリエンテーション

- ・ マニュアルの共有、搬入出の方法や時間の確認
- ・ スポンサータグの配布
- ・ 当日の記録計画

直前リリース・取材手配

- ・ リリースの配信
- ・ メディア取材手配、イベントのプレス登録依頼

搬入・施工・出展準備

- ・ 消防署・会場による査察対応（該当者のみ）

効果測定と振り返り（9～10月）

- ・ 物販売上、回収アンケート、配布物・ウェブサイトやアプリへのアクセス数、来場者の声などの評価分析
- ・ 出展内容の紹介ツールやレポートの作成・公開（配布）
- ・ 当日参加スタッフ・協力会社・事務局との振り返り
- ・ 事務局へのアンケート提出

会期後請求分の入金（10月末）

安全なイベント運営のため、消防法、東京ビッグサイト、Maker Faire Tokyo の出展規定・禁止事項を遵守してください。

出展内容やブース設営については、事前に事務局に申請いただき、確認をさせていただきます。

安全対策の詳細と申請方法は「協賛募集要項」「危険物申請に関するご案内」「スポンサーマニュアル」をご確認ください。

■対象

装飾・仕切り・展示台・敷物などに使用する布や木材、工事シート
(例：ターポリンシート、テーブルクロス、バナー、パネル、壁、カーペット、人工芝など)

〔裸火〕 炎や火花を発するもの、発熱部が外部に露出するもの
(例：はんだごて、レーザー加工機など)

〔危険物品〕 引火性液体、アルコール類、指定可燃物、可燃性ガス、火薬など (例：ガソリン、軽油、紫外線硬化樹脂、UVインク、フラックス洗浄剤、エタノール、リチウムイオン電池など)

※重量濃度60%以上の市販の手指消毒液も要申請

〔水素〕 水素を使用した作品の展示・実演に関してはすべて持ち込みを禁止

天井及び屋根（布、シートなどを貼り付けたものも含む）の設置
食品の展示、販売、提供、調理、口の中に食品を入れる実験

■対策

展示に木材を使用する場合は、集成材の使用をお勧めします。合板・ベニアの場合は、すべて浸漬加工による防火処理を施して、防火表示マークを見やすい箇所につけて下さい。旗・幕・カーテン、テーブルクロス、カーペットなどの布類は、すべて防火処理を施して、個々の布に指定の防火表示マークを見やすい箇所につけて下さい。（布類の防火加工は、クリーニング店に依頼することが可能）

持ち込みは必要最小限とし、各対象の数量・容量、データシート（SDS）、ブース内での保管・使用位置、使用用途、安全対策などを提出して下さい。申請がなかった物品の持ち込みはできません。

本イベントは、個人の出展・自作品の展示が多く、会場・消防署より慎重に出展物の確認が行われます。通常の企業展示会とは申請範囲が異なる場合があることをあらかじめご了承ください。また、開催前日もしくは初日に消防署の査察が行われます。申請と展示が異なる場合は、撤去やイベント全体の中止を求められる可能性があります。

事務局を通じて事前の届出を行います。実施するために必要な設備や施工に実費がかかります。

お申し込み

締切：5/17（火）

- 希望者へMaker Faire Tokyo 2022 の申込書類やフォームをお送りします。
お申し込みには以下の手続きが必要です。
- 1. 「協賛申込書」（Excelファイル）に記入のうえ、メールまたは郵送で提出
- 2. 「ロゴデータ」をメールで提出（会場サインにも掲載するため、ai、eps、などベクター形式推奨）
- 3. 「スポンサー情報登録フォーム」（オンラインフォーム）より、出展内容や公開情報を提出
- 4. Startup Sponsor（初回）の場合は、企業概要・製品概要がわかる資料をメールまたは郵送で提出

協賛費用のお振り込み

- お申し込み内容についてMaker Faire ガイドラインに沿って確認を行い、協賛および出展内容を受諾した出展者に請求書を送付します。
- 一旦お振り込みいただきました協賛費用は、事務局がご協賛を辞退する場合を除き、理由の如何に関わらずご返金することはできませんのでご了承ください。

ウェブサイトロゴ掲載

- 請求書発行後、順次、Maker Faire Tokyo 2022 のウェブサイトにもロゴを掲載します。
- 各締切から掲載までは、およそ2週間かかります。掲載時期を遅らせるなど調整が必要な場合は、事前にご相談ください。
- 掲載ロゴは、各プランにつき1つです。

お問い合わせ先

株式会社オライリー・ジャパン Maker Faire Tokyo 事務局 スポンサー担当
E-mail sponsors@makejapan.org